

宝飾札用プリンター

P-SJRⅢ

P-SJNⅢ

P-SJRⅢ-U2

取扱説明書



目次

1. はじめに	1
2. 特長	2
3. 安全にご使用いただくために	3
4. 一般仕様	7
5. 各部の名称と説明	
5-1 プリンター全体図	8
5-2 操作パネル部	9
5-3 電源パネル部とインターフェース部	10
6. リボンのセット方法	11
7. 札セットの方法	13
8. エラーコード表	16
9. 印字ヘッドの掃除について	17
10. 故障について	18

1. はじめに

このたびは、P-SJRⅢ・P-SJNⅢ・P-SJRⅢ-U2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機は、熱転写方式のサーマルプリンターで、パソコン等の外部入力装置とRS-232Cでインターフェースすることにより、貴金属品等の販売時点情報管理システムのキーポイントとなるバーコード札を発行する装置です。

お願い

この取扱説明書には、機械各部の操作方法をはじめ、使用上の注意事項、簡単なトラブル処理方法などについて記載してあります。本機の性能を十分に発揮させ、効果的に活用していただくためご使用前に取扱説明書を必ずお読みください。

ご使用中、不明点があればいつでも閲読できるよう、この取扱説明書は大切に保管してください。

2. 特長

(1) バーコードプリンター

P-SJNⅢは印字密度約200dpi

P-SJRⅢは印字密度約300dpi

(2) 熱転写印字方式

カーボン熱転写印字方式の為、安定した印字品質を保つことができます。又、インキを使用しないので手を汚すことなく印字後直ぐに取付け作業ができます。

(3) 二次元コード標準搭載

QRコード・マイクロQR・PDF-417・MAXIコード・データマトリックスを標準搭載しています。

(4) パソコンとの接続でオンライン発行が可能（ボーレート115200bps対応）

各種パソコンとのインターフェースにより、オンラインによるラベル発行プリンターとして、システム構築ができます。

(5) オプション-UHF帯RFID付バーコードプリンター

P-SJRⅢU2は印字密度約300dpi

3. 安全にご使用いただくために

本製品を安全に正しくご使用いただくために守っていただきたい注意事項を示しています。

◆表示の意味



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される原因を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人がけがをしたり周囲に物的な損害をあたえたりする可能性が想定される原因を示しています。

◆記号の例



△で示した記号は、警告や注意を促す内容を示しています。記号の中や近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘で示した記号は、してはいけない禁止事項を示しています。記号の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。



●で示した記号は、必ず指示に従っていただきたい強制事項を示しています。記号の中や近くに具体的な指示内容を示しています。

警告



表示されている電源電圧以外では使用しないでください。
火災・感電の恐れがあります。



電源コードは本機の付属品を使用してください。
付属品以外の電源コードを使用すると、発火や火災の恐れがあります。



アース

アース接続は必ず行ってください。
漏電すると火災・感電の原因となります。またガス管、電話専用アース、水道管には絶対取付けないでください。



禁止

延長コードを使用したり多配線で使用しないでください。
電源の容量を超えると火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードの上に重い物を乗せたり、無理に曲げたり、傷つけたり、加工したりしないでください。
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



指示

電源プラグをコンセントから抜くときは必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると芯線が露出したり断線し、火災・感電の原因となります。



抜く

万一、煙が出たり焦げた臭いがしたときは、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてメンテナンスサービスへ連絡してください。
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



禁止

本機の開口部から内部に金属の異物を差し込まないでください。
配線がショートし故障・感電・火災の原因となります。



抜く

異物(金属類・液体)が本機の内部に入った場合は、本機の電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた後、販売店へご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

警告



分解

本機のカバーを取り外したり分解しないでください。
火災・感電の原因になります。点検や修理は販売店へご連絡ください。



本機を水のかかる場所で使用しないでください。
また、濡れたラベルやサーマルリボンを使用しないでください。
故障・火災・感電の原因となります。



禁止

本機に強い衝撃を与えたり激しい振動を与えないでください。
本機が落下してけがの原因となります。また本機が破損し火災・感電の恐れがあります。

注意



指示

本機に電源コードを接続する場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。

ショートや故障の原因となることがあります。



指示

本機の電源ON/OFFは必ず本機の電源スイッチで行ってください。
本機の電源スイッチがONの状態、タップによる電源ON/OFFは故障の原因となります。



指示

本機に接続する通信ケーブルは電源がOFFの状態に接続してください。
電源がONの状態に接続するとショートや感電の原因となることがあります。



抜く

オプションユニットの取付けや取外しは、本機および本機に接続されている装置の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
故障・感電の原因となります。



禁止

湿気やほこり、通気性の悪い場所には設置しないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

お願い



指 示

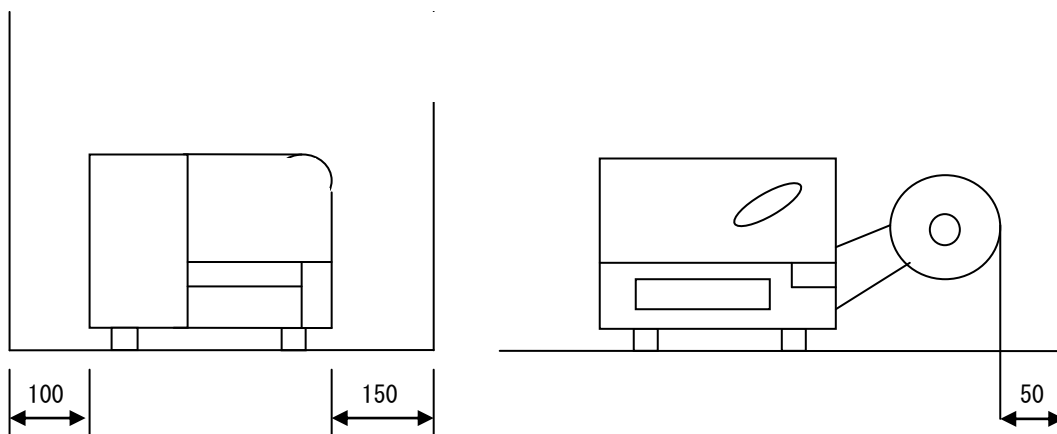
キーは軽く押すだけで操作できますので強く押さないでください。



指 示

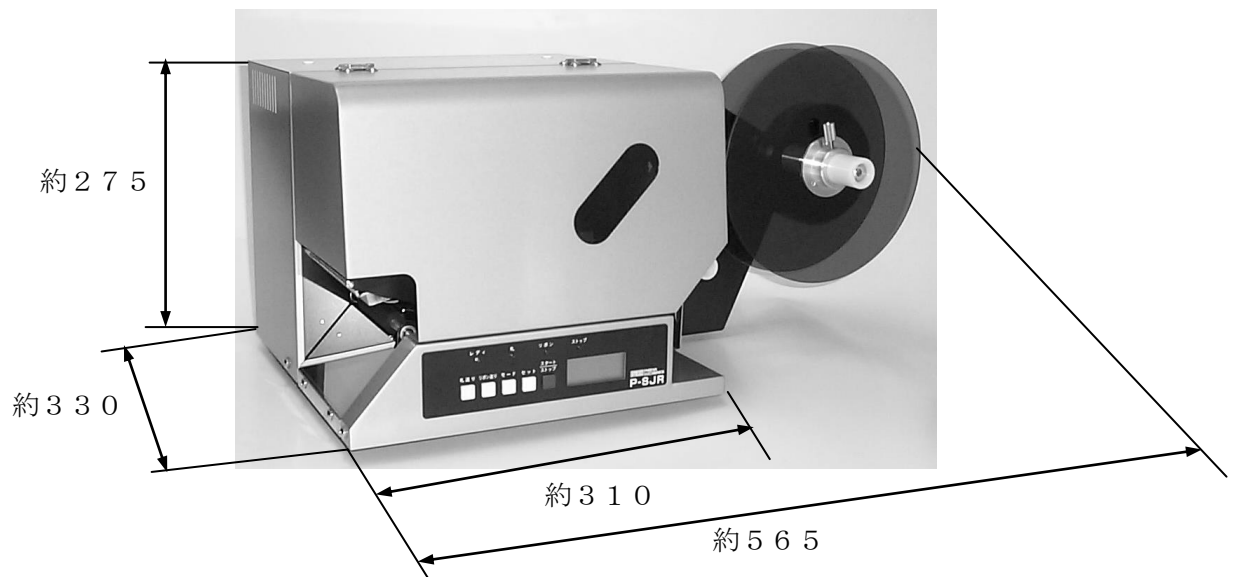
消耗品の交換や点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

(単位 mm)



4. 一般仕様

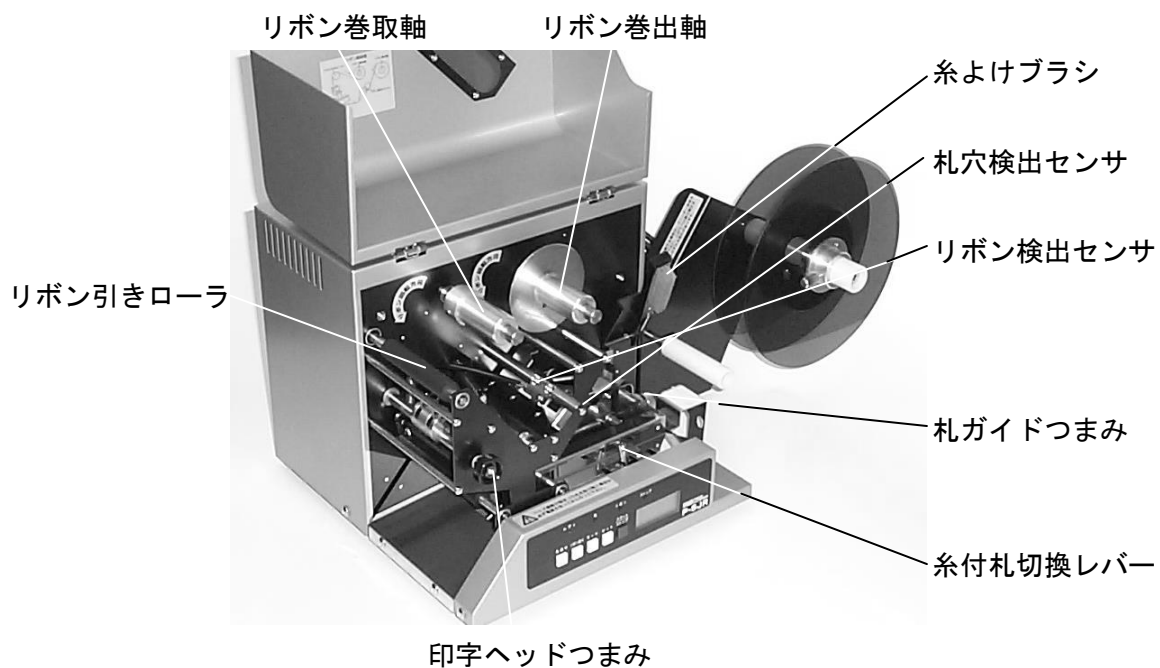
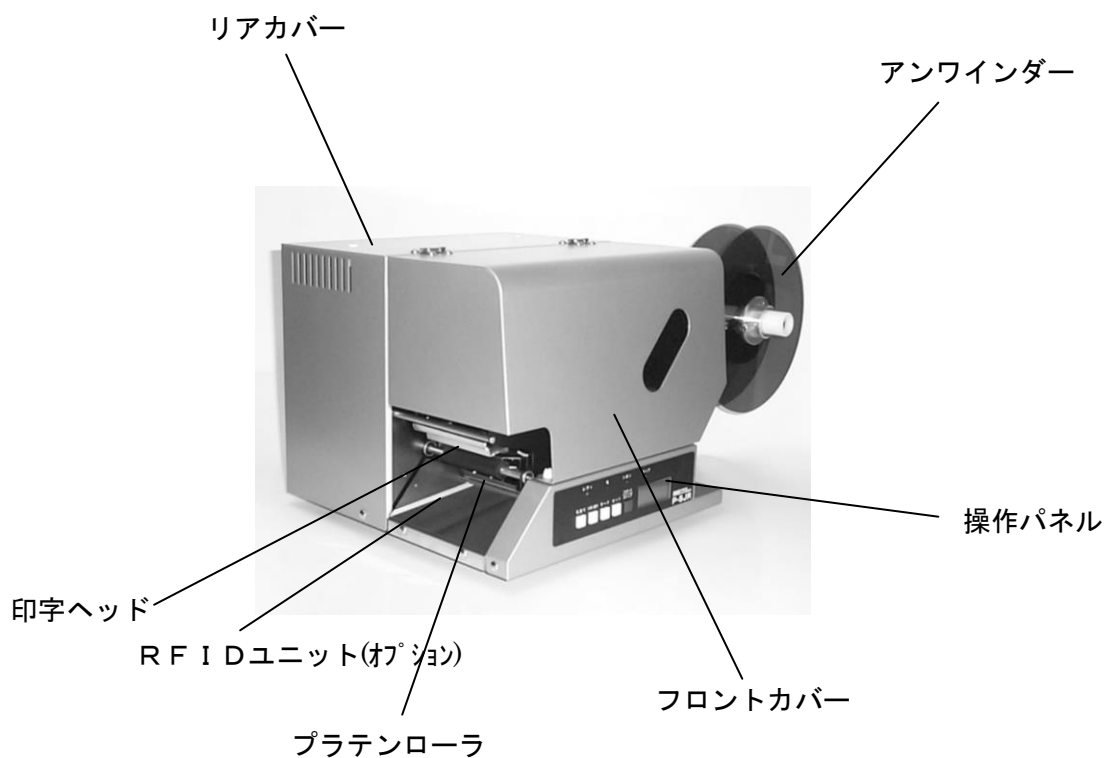
- ① 電 源 : AC100V±5% 50/60Hz
- ② 消費電力 : 約200VA
- ③ インターフェース : RS-232C準拠シリアル型
- ④ 重 量 : 約17kg
- ⑤ 温 度 : 動作時 10～30℃
保存時 0～45℃
- ⑥ 湿 度 : 動作時 40～70%
保存時 30～90% (非結露のこと)
- ⑦ 印字密度・印字速度 : P-SJNⅢの場合 約7.6 dot/mm・MAX145 mm/s
P-SJRⅢ/P-SJRⅢ-U2の場合
約11.8 dot/mm・MAX100 mm/s
- ⑧ 用紙サイズ : 幅 35～85 mm (糸付)・24～74 mm (ラベル)
送り 20～200 mm (20 mm の場合は余白1 mm 要)
- ⑨ 外形寸法 (mm 単位)



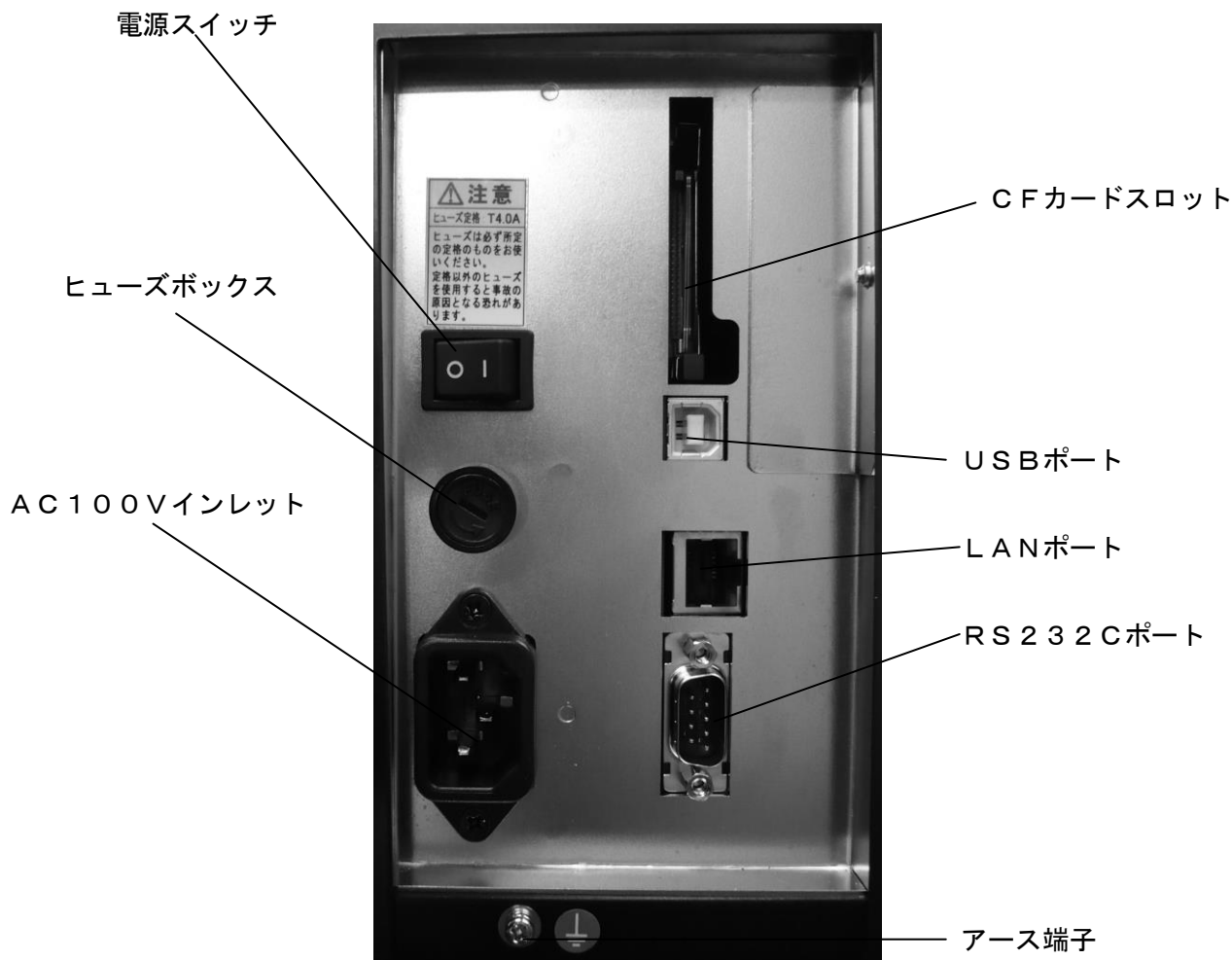
- 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

5. 各部の名称と説明

5-1 プリンター全体図



5-3 電源パネル部とインターフェース部



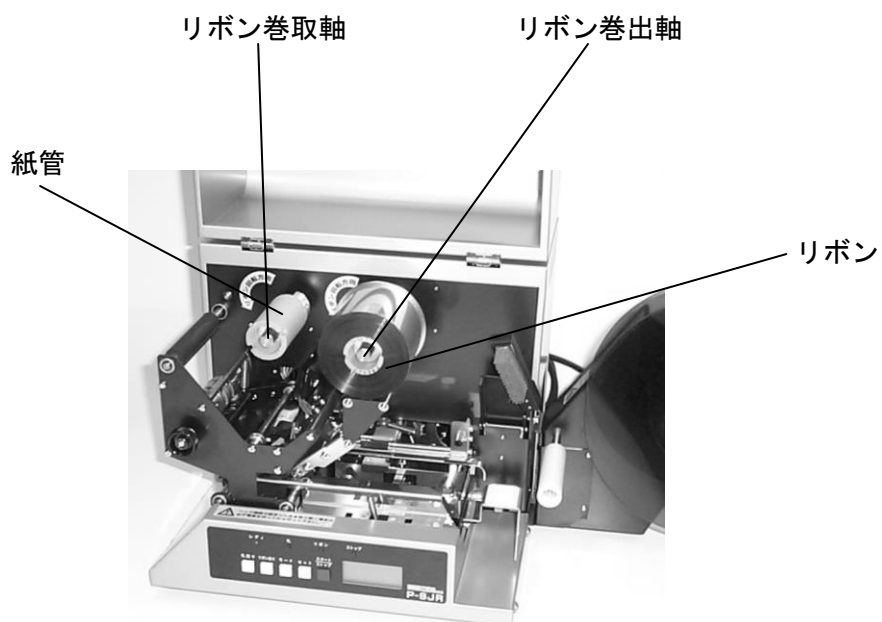
- ・電源スイッチ : 右側押下(1)で‘ON’、左側押下(0)で‘OFF’になります。
- ・ヒューズボックス : ヒューズが入っています。(125V・4A, ミネソタ製[®] φ5×20)
- ・AC100Vインレット : 付属の電源コードを差し込みます。
- ・CFカードスロット : CFカード(オプション)を差し込みます。
- ・RS232Cポート : パソコンと接続するRS232Cケーブルを差し込みます。
- ・USBポート : パソコンと接続するUSBケーブルを差し込みます。
- ・LANポート : ネットワークと接続するRS232Cケーブルを差し込みます。
- ・アース端子 : 付属のアース線を接続してください。

注意

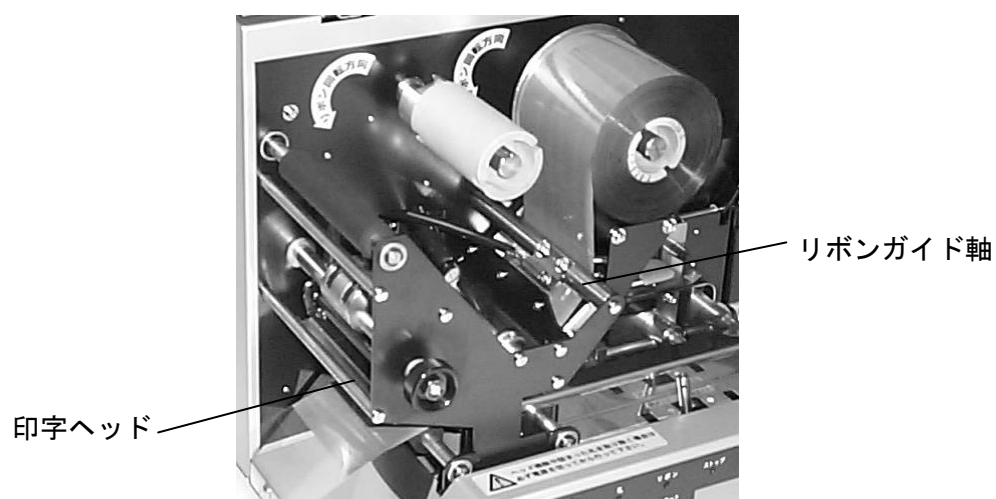
ヒューズは必ず所定の定格(125V 4.0A)のものをお使いください。
定格以外のヒューズを使用すると事故の原因となる恐れがあります。

6. リボンのセット方法

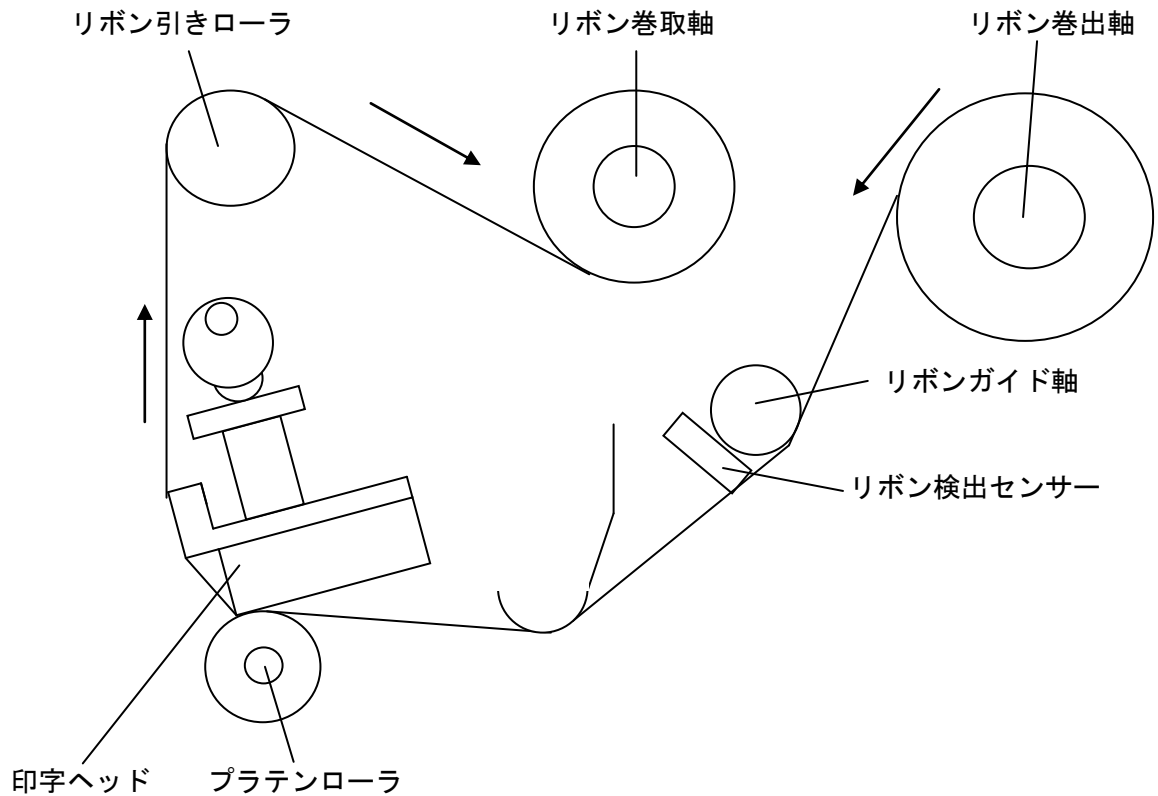
- (1) リボン巻取軸に紙管及びリボン巻出軸にリボンを奥まで差し込んでください。



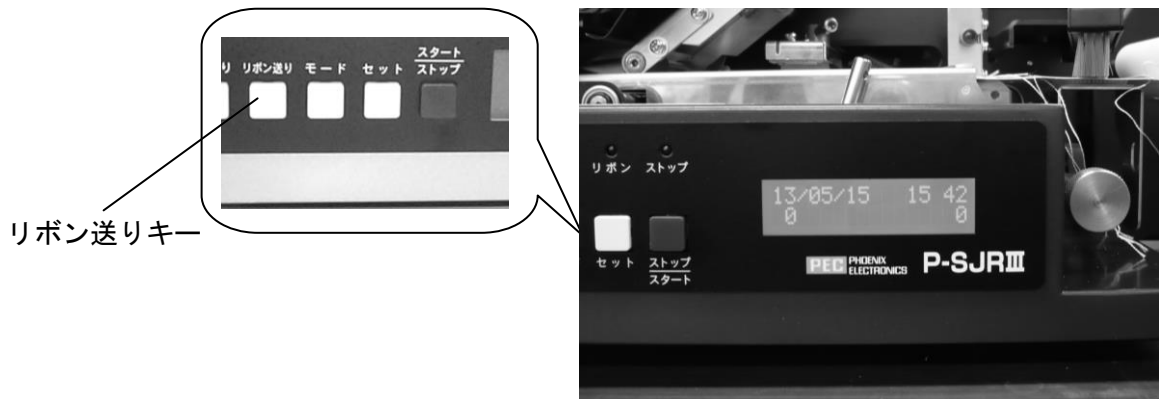
- (2) リボンをリボンガイド軸と印字ヘッドの下に通してください。



(3) リボン経路図を参照して、下図のようにリボンセットを完了してください。



(4) リボン送りキーを押して、シワが無くなるまでリボンを巻き取ります。

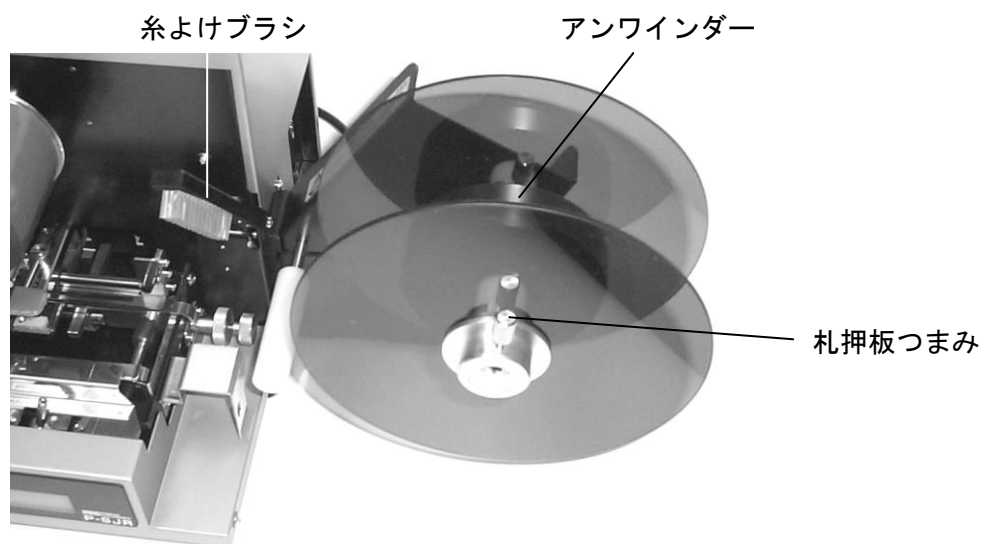


お願い

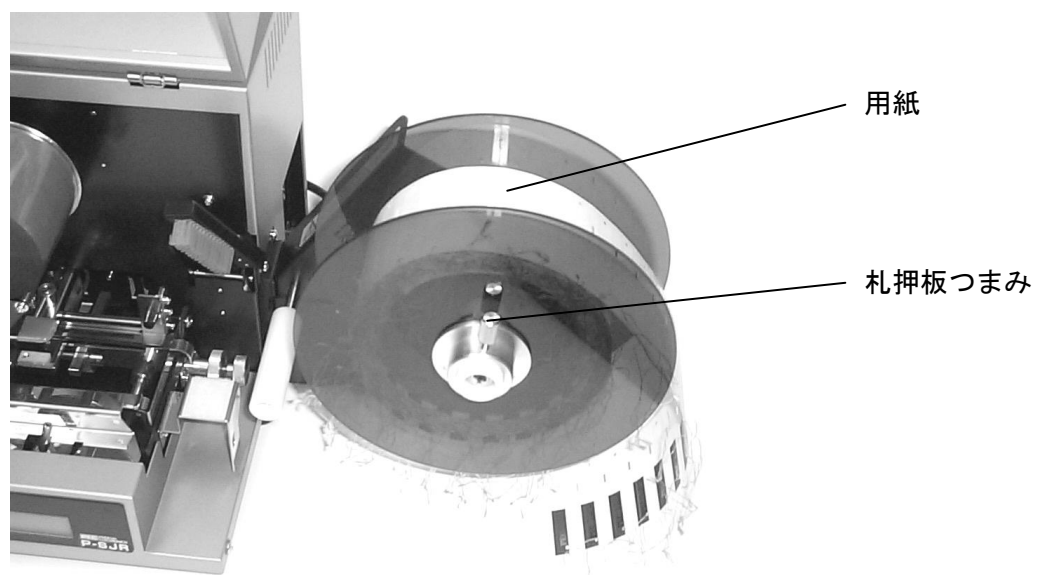
- ❗ リボン検出センサーにリボンが確実に通るようにしてください。
- ❗ リボン経路は上図の通り正しくセットしてください。
間違ったセットを行うと印字がでず、印字ヘッドの破壊の原因になります。
- ❗ リボン引きローラ、リボンガイドローラ、リボンガイド板、プラテンローラは時々無水エタノールで掃除してください。ローラが汚れると用紙送り、リボン送り不良が発生し印字品質が低下します。

7. 札セットの方法

- (1) アンワインダーの札押え板つまみを緩め、札押板を外します。また、糸よけブラシを上げて、ください。



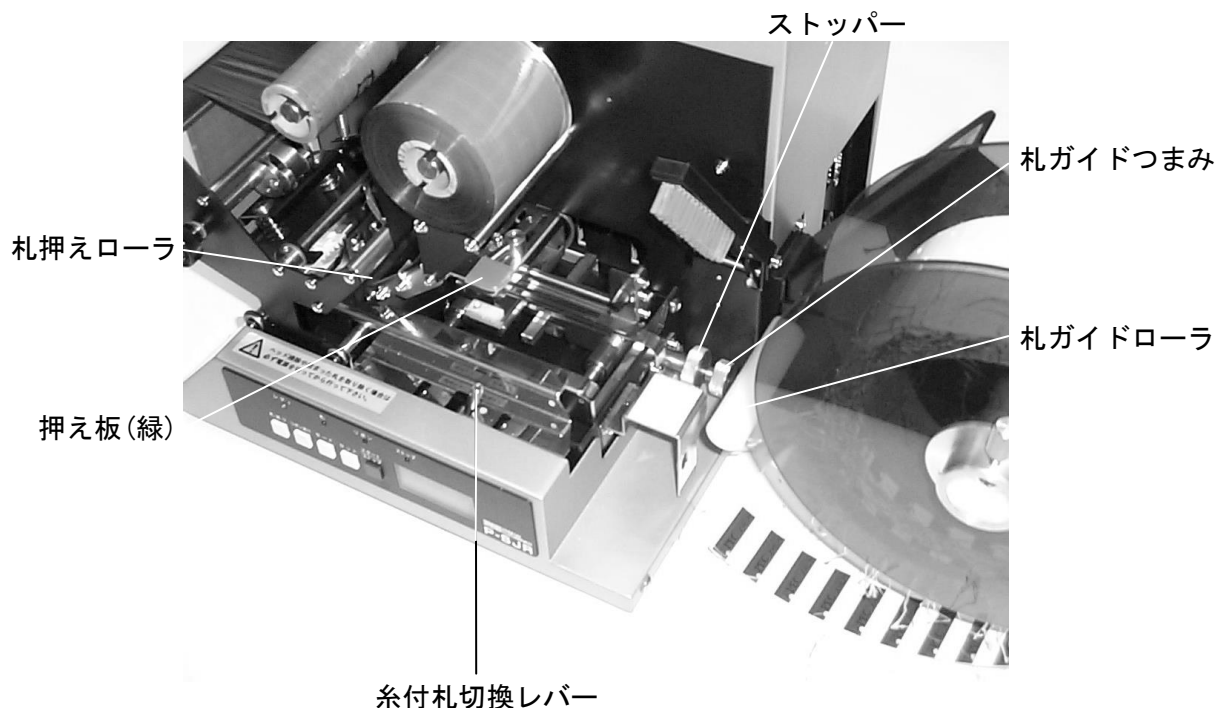
- (2) 札をアンワインダーにセットし、札押板を差し込んでから、札押板つまみをしっかりと締めてください。



ポイント

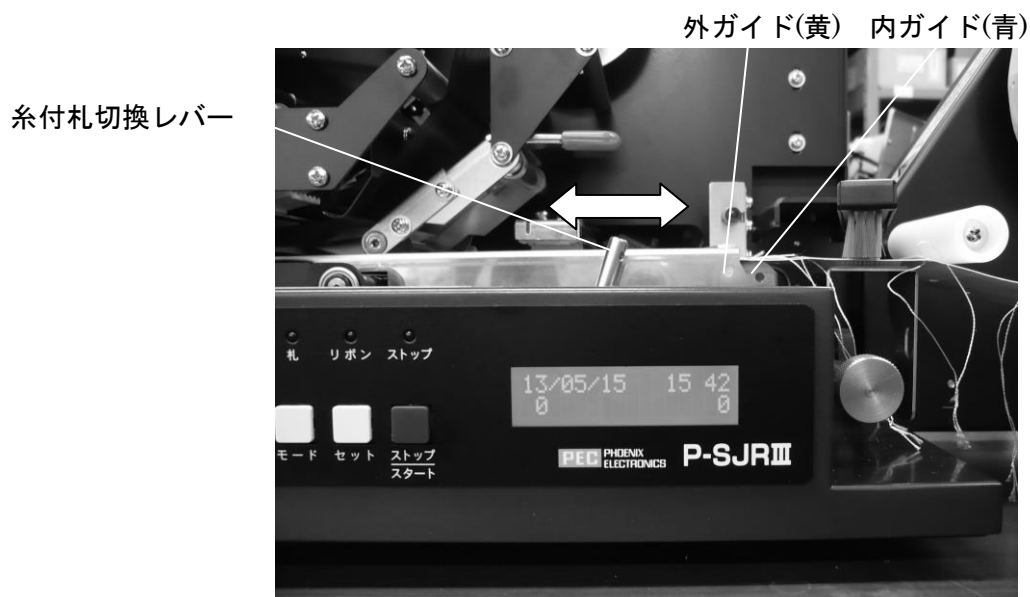
用紙の向きに注意してください。逆さにセットすると印字ができませんので注意してください。

- (3) ストッパーを緩めてから、札ガイドつまみを回し、札ガイドローラの下を通るように札をセットして、札ガイドつまみを札に合わせて調整し、札がスムーズに移動できる位でストッパーを締めてください。押さ板を押して、札押えローラを上げ、札押えローラから5mm位札が出た状態で押さ板を降ろしてください。



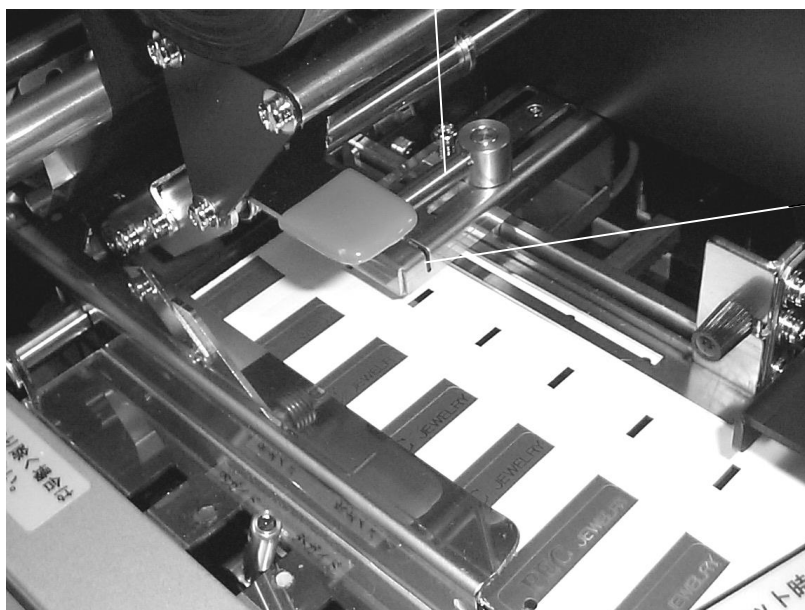
お願い

糸付タグの場合は外ガイド(黄)を使用し、糸無しタグ・ラベルの場合は内ガイド(青)を使用してください。外ガイドを使用する場合は糸付札切換レバーを右に倒し、内ガイドを使用する場合は左に倒してください。



- (4) 札穴検出センサーを札の穴又は隙間に合うように札穴検出センサー前後移動レバーを緩め、前後に調整を行った後に、札穴検出センサー前後移動レバーを締め、糸よけブラシを下げてください。

札穴検出センサー前後移動レバー



この溝と札穴を合わせる

- (5) 操作パネルの[セット]キーを押してください。



セットキー

お願い

札送りキーを押してから印字開始をさせた場合に印字位置が異なりますので、必ず、セットキーを押してから印字を行ってください。

8. エラーコード表

エラーが発生しプリンターが停止したときは、下記エラーコードが表示されます。

エラーが発生し、プリンターが停止したときは、下記エラーメッセージが表示されます。

エラーNo.	内 容	処 理
ヘッド シンゲン エラー	<ヘッド自己診断エラー> 印字ヘッドに異常がある時	印字ヘッドの交換が必要です。
ヨウシ カ ツマリマシタ	<札詰まりエラー> 札が印字中に詰まった時 札が検出できなかった時	札を取り外して、札を再セット後 セットキーを押してから、ストップ/スタートキーを押すと再スタートします。
ヨウシ カ アリマセン	<札切れエラー> 札が無くなった時	札をセットし、セットキーを押してから ストップ/スタートキーを押すと、印字が再スタートします
リボン カ アリマセン	<リボン切れエラー> リボンが無くなった時	新しいリボンをセットし、リボン送りキーを 押してから、ストップ/スタートキーを押すと、 印字が再スタートします。
SET ミカシヨウ	<セット 未完了エラー> セット動作を行わなかった時	セットキーを押して用紙を正しい位置に セット後、ストップ/スタートキーを押すと、 印字が再スタートします。
RFID タグ エラー	<RFIDタグエラー> タグにRFIDデータが書き込 めなかった時	タグに“X”印字されていますので、そのタ グを破棄してください。(オプション時のみ)
RFID TID ヨミトリ エラー	<RFID TIDヨミトリエラー> RFID タグの TID ヨミトリできなかつ た時	タグに“X”印字されていますので、そのタ グを破棄してください。(オプション時のみ)

お願い

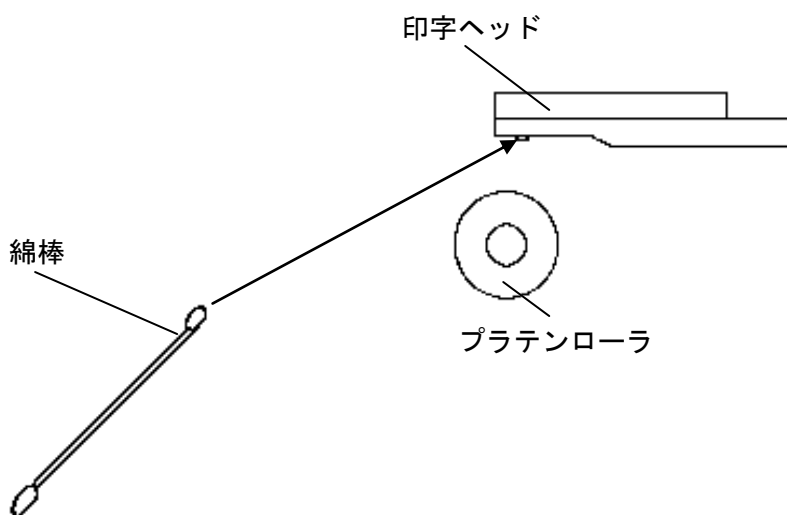
- ! 上記の処置を行ってもエラーコードが表示された場合は、一度電源を切り再起動してください。
再度操作を行ってもエラーコードが表示される場合は、連絡先へお問合せください。

9. 印字ヘッドの掃除について




印字ヘッドは定期的に掃除する必要があるため使用される前に掃除を行ってください。

《印字ヘッドの掃除方法》

- (1) 本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- (2) 印字ヘッドつまみを回して印字ヘッドとプラテンローラの間を空けてください。
- (3) リボンをヘッドから奥の方にスライドさせます。
- (4) 下図の箇所を無水エタノールに浸した綿棒で軽く拭いてください。
(強く拭くと故障の原因となります。)
- (5) 用紙およびリボンを再セットしてから印字ヘッドつまみを回して印字ヘッドを下げる。
- (6) 電源 ‘ON’ 後、セットキーを押した後に印字確認を行ってください。



お願い

-  必ず本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
-  金属などの固いものは印字ヘッドを破壊しますので絶対に使用しないでください。
-  掃除のときは無水エタノール以外の薬品（シンナー等）を使用しないでください。

10. 故障について

下記の処置をしても回復しないときは、必ず本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いて連絡先へお問合せください。

連絡先

症 状	確 認 事 項
電源を‘ON’にしても作動しない	<ul style="list-style-type: none">・電源の差込みプラグ（3P）がコンセントから外れていないか確認してください。・コンセントに電源がきているか確認してください。・ヒューズが切れていないか確認してください。（P. 11 電源パネル部とインターフェース部参照）
札に印字されない	<ul style="list-style-type: none">・札・リボンランプが点滅していないか確認してください。・リボンが逆にセットされていないか確認してください。（P. 12 リボンセットの方法参照）・エラーコードが表示されていないか確認してください。
印字がかすれる	<ul style="list-style-type: none">・印字ヘッドが汚れていませんか。無水エタノールと綿棒で印字ヘッドを掃除してください。（P. 18 印字ヘッドの掃除について参照） 印字ヘッドを掃除しても回復しないときは、連絡先へお問合せください。
印字に白いスジが入る	<ul style="list-style-type: none">・印字ヘッドが汚れていませんか。無水エタノールと綿棒で印字ヘッドを掃除してください。（P. 18 印字ヘッドの掃除について参照） 印字ヘッドを掃除をしても回復しないときは、連絡先へお問合せください。 <ul style="list-style-type: none">・「ヘッドシンダンエラー」が表示されていませんか。表示されている場合は、連絡先に印字ヘッドの交換を依頼してください。

